

社会・地域への責任と行動

ムラタは、“Innovator in Electronics®”の企業スローガンのもと、価値ある製品を供給することで社会の発展に貢献するとともに、事業活動以外でも社会・地域に貢献していきたいと考えています。



社会貢献の考え方

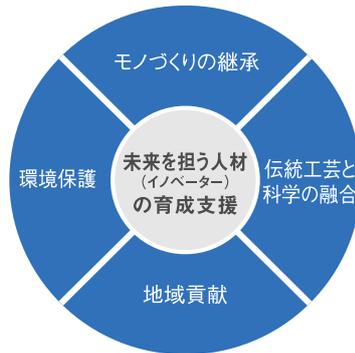
ムラタの社会・地域貢献活動基本方針

ムラタは「社会や地域に開かれた存在であり、信頼される企業」であり続けたいと考えています。ムラタの持てる資源（人・専門性・施設・資金）を有効活用し、継続的な社会・地域貢献活動に取り組みます。

社会との関わり	地域との関わり	従業員との関わり
社会の課題に関心を持ち、ムラタの特色を活かした貢献活動を行います。	地域の誇りとなる企業であるために、それぞれの地域のニーズと特性に応じた役割と責任を果たします。	従業員のアイデアや参画を重視し、従業員一人ひとりが、積極的に社会や地域との接点を持つことを奨励し、支援します。

ムラタの社会・地域貢献活動重点分野

生産活動を行う企業として、「モノづくりの継承」「伝統工芸と科学の融合」「環境保護」に、また、地域の一員として「地域貢献」に重点をおいて活動を推進します。特に、未来を担う人材（イノベーター）の育成を支援するという視点を重視します。



モノづくりの継承	ムラタは、“Innovator in Electronics®”のスローガンのもと、さまざまな電子部品を世に送り出してきました。これまでの歩みで培った「モノづくりの心」と「科学技術」をもとに、科学の面白さ・不思議さを次世代に伝え、未来を支える人材の育成を支援します。
環境保護	ムラタは、豊かな社会の実現を目指して、製品を開発・製造していますが、これらが意図せずして環境に影響を与えていることは認めません。事業活動を通して、環境負荷軽減を目指すだけでなく、積極的に豊かな環境を目指すための活動を行います。
伝統工芸と科学の融合	ムラタは、伝統的なやきもの（セラミックス）の知恵を活かしながら、最新の科学技術によって独自性ある製品を生み出してきました。伝統工芸と科学の融合による無限の可能性を探り、新たな領域を切り拓く活動を応援します。
地域貢献	「そこにムラタのあることが、その地域の喜びであり、誇りでありたい」のモットーのもと、地域社会の一員として、安心、信頼、尊敬される企業を目指します。

教育・文化・スポーツ振興の支援

地域の文化振興イベントを開催

ムラタは、1992年から協賛している全国小学生バドミントン大会「若葉カップ」や、びわ湖大学駅伝など地域に根ざしたスポーツを応援しています。また、従業員の発案で始まった「ムラタ イノベーター

ターカップ小学生囲碁9路盤大会」は、2008年で第3回となりました。小学生と保護者約130名が参加し、55名の社内スタッフが運営しました。

各地域の文化・自然と調和する緑化活動

ムラタでは、緑を深く愛した創業者のもと、今から約20年以上も前に全10カ条からなる『ムラタの緑化方針』を制定。地域に「文化的雰囲気」を生み出し、それを維持発展させることが企業の社会的責任であるという方針のもと、事業所ごとに各地域の文化や自然と調和する緑化に取り組んでいます。花の開花季節には地域住民の

方をお招きし「観賞会」なども開催しています。2008年度には、企業などによって創出された良好な緑空間とそこでの活動を評価する「社会・環境貢献緑地評価システム (SEGES)※」の審査を、金沢村田製作所、岡山村田製作所をはじめとする6事業所で新たに認定取得しました。

※本社、横浜事業所、八日市事業所、野洲事業所は取得済み



出雲村田製作所で開催されたツバキの一般公開





近隣住民とのコミュニケーション

各拠点で職場体験活動を実施

氷見村田製作所では社会に学ぶ「14歳の挑戦」と題して、行動領域が広がり活動が活発になる中学2年生に、1週間の職場体験活動の場を提供しました。また、就職活動前の高校2年生のインターンシップも受け入れ、就業体験の場を提供

しました。福井村田製作所でも毎年8月に市内各中学校が総合学習として実施している職場体験活動に参画しています。2008年は28名の生徒に実際の職場で仕事を体験してもらいました。

学術支援活動

エレクトロニクス分野を中心に学術研究を助成

学術振興を通じて、科学技術の発展に尽くしたいと考え、ムラタでは1985年2月に「村田学術振興財団」を設立。同財団は、エレクトロニクス分野を中心とした科学技術の向上・発展や、国際化にともなう人文・社会科学分野の諸問題の解

決に寄与する研究への助成金を交付し、研究者の国際交流も促しています。

2008年度の助成件数は、研究助成83件、研究会助成23件、海外派遣援助43件であり、計1億3,000万円を助成しました。

寄付活動

国内外へのさまざまな寄付

2008年度は、岩手・宮城内陸地震の被災者に対して200万円を寄付しました。中国四川省で発生した地震の被災者に対してはムラタの従業員からも自発的な募金があり、会社からの義援金と合わせて合計約1,100万円のマッチングギフトを行いました。

また、Murata Electronics (UK) Limitedではコミック・リリーフという団体のチャリティー活動に参画しています。参加者は、チャリティー商品である赤い鼻や赤い服を身に付け、その売上金

の一部をイギリス国内だけでなく、アフリカ等にも寄付しています。



コミック・リリーフのチャリティー活動に参加した従業員

Message

エコ活動を進め地域貢献に少しでも役立てたい!

ハクイ村田製作所では、エコ活動と称して、環境保全と社会貢献を目的とした活動を進めています。この活動を進めるなかで近隣の保育園との交流が始まり、クリスマスには従業員の家庭で眠っている幼児向けの絵本やビデオ等を贈らせていただきました。子どもたちからも歌のプレゼントがあり、心が大変温まりました。まだまだ始めばかりの小さなエコ活動ですが、この活動が地域貢献として少しでも役立つよう、これからも自分たちができることを地道に取り組み続けていきたいと思っています。

株式会社ハクイ村田製作所

後列 左から 田甫 幸恵
上坂 裕子
鍛冶 陽子

前列 左から 宮田 雅美
中橋 かをり
米澤 真由美



Message

四川地震への支援活動

四川地震発生直後に、ムラタ(中華圏)は支援策を検討しました。従業員は自発的に社内で募金活動を行い、会社の義援金と合わせて約49.6万円を寄付しました。支援活動は義援金に留まらず、中華圏各社は四川籍従業員とその家族の被災状況を把握し、見舞金を支給しました。また、災難地区のお客様と緊密に連携を取り、お客様の問題解決のため最大の努力を尽くしました。中国社会の一員として私たちは、積極的に活動しました。このような精神のもと、活動を続けてまいります。



村田(中国)投資有限公司
法務・広報科

夏 海燕

